

中央教育審議会大学分科会法科大学院等特別委員会
第12期の審議のまとめ
(骨子案)

はじめに

I. 法科大学院制度の20年の歩み

(法科大学院の意義、これまでの審議経過、制度改正等)

II. 現状と法曹に対する評価、法科大学院教育への期待等

1. 現状

(法科大学院における教育内容、入学者数・司法試験合格率等の推移等)

2. 法曹人口・活動領域の拡大、法曹に対する評価等

3. 法科大学院教育への期待

III. 今後の課題等と求められる取組の方向性

1. 法科大学院教育における魅力・特色ある取組の推進

2. 5年一貫型教育のより円滑な実施

3. 多様な法曹志願者の確保、未修者教育の充実

4. 法科大学院教育を担う教員(研究者)の養成・確保

5. 法科大学院教育と司法修習との連携強化

おわりに